



都市の産業立地を公共的空間として再生するという課題に対し、歴史性や独自性の表現、都市生態系の充実、事業としての魅力づくりをテーマとし、産業の遺産を新しい空間資源として徹底して活用し、明治37年の創業以来企業文化を育ててきたこの地を次世代に受け継ぐノリタケの森として整備しました。

ネットワーク 明快な空間構成の構築

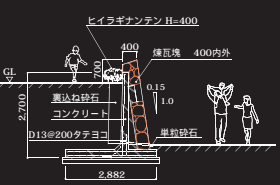
敷地中央に一列に並ぶ煙突群を、来場者にとってのエントランスゲートと位置付け、そこにロータリーとパーキングを隣接させました。また、施設同士をつなぐプロムナードはシンボルツリーの並木や水路により輪を強化するなど、わかりやすく回遊できる空間構成としました。敷地内の様々な既存の要素(神社、鎮守の森、記念碑、芝生、彫刻等)をランドスケープとして統合することで施設全体のイメージを強化しています。



せせらぎとメタセコイアの並木でプロムナードを強化



工場の解体で発生した大量の煉瓦塊



煙突断面図

ライフスタイル 森との関わり

ノリタケの森の豊かな自然の中で、音楽やアート、大道芸や芸術など、人と自然と文化の出会いを楽しむ機会を創造しています。

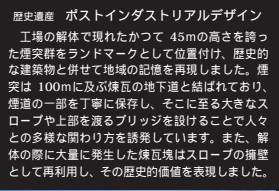
- ノリタケの森 イベント
(ノリタケの森公園と大正倉庫と煉瓦のクラムリーション)
- ・4月14日(日) RICOH美術館 (27/10/19/20)
 - ・4月18日(木) 音楽祭 (25/4/19/20)
 - ・4月24日(木) RICOH美術館 (27/10/19/20)
 - ・4月28日(日) 音楽祭 (25/4/19/20)
- ノリタケの森 イベント
(ノリタケの森公園と大正倉庫と煉瓦のクラムリーション)
- ・4月13日(土) 音楽祭 (25/4/19/20)
 - ・4月24日(木) RICOH美術館 (27/10/19/20)
 - ・4月28日(日) 音楽祭 (25/4/19/20)
 - ・4月30日(火) RICOH美術館 (27/10/19/20)
- ノリタケの森 イベント
(ノリタケの森公園と大正倉庫と煉瓦のクラムリーション)
- ・4月13日(土) 音楽祭 (25/4/19/20)
 - ・4月24日(木) RICOH美術館 (27/10/19/20)
 - ・4月28日(日) 音楽祭 (25/4/19/20)
 - ・4月30日(火) RICOH美術館 (27/10/19/20)



噴水ひろば



施設間同士をつなぐ波状の緑道空間



歴史遺産 ポストインダストリアルデザイン

工場の解体で残ったかつて45mの高さを誇った煙突群をランドマークとして位置付け、歴史的な建築物と併せて地域の記憶を再現しました。煙突は100mに及び煉瓦の地下道と結ばれており、煙道の一部を丁寧に保存し、そこに至る大きなスロープや上部を渡るブリッジを設けることで人々の多様な関わり方を誘発しています。また、解体の際に発生した煉瓦塊はスロープの擁壁として再利用し、その歴史的価値を表現しました。



保存された煙突と煙道

ファロアップ 生態環境調査

都市生態系のネットワーク構築を目指して計画されたノリタケの森の緑地の効果を把握する為、整備前に掲げた目標種の出現確認調査を竣工1年後に行いました。(印が確認された種です)

種別	ノリタケの森	旧倉庫	煉瓦	煙道	煙突	計
キジバト	●	●	●	●	●	5
ツバメ	●	●	●	●	●	5
ヒヨドリ	●	●	●	●	●	5
カワラヒワ	●	●	●	●	●	5
スズメ	●	●	●	●	●	5
ムクドリ	●	●	●	●	●	5
ハシロガラス	●	●	●	●	●	5
ハシロガラス	●	●	●	●	●	5
合計種数	7	8	7	8	7	8
アオスズメバチ	●	●	●	●	●	5
アマガエル	●	●	●	●	●	5
ヤマシジミ	●	●	●	●	●	5
キタガハ	●	●	●	●	●	5
キアゲハ	●	●	●	●	●	5
合計種数	3	2	3	5	4	6
トビ	●	●	●	●	●	5
ノリタケの森	●	●	●	●	●	5
アキアカネ	●	●	●	●	●	5
ウスバキトンボ	●	●	●	●	●	5
ギンヤンマ	●	●	●	●	●	5
シオカラトンボ	●	●	●	●	●	5
アザガハ	●	●	●	●	●	5
合計種数	5	2	4	3	4	5

エコロジー 都市の森の創造

限られた敷地ですが、変生広場、大樹の樹林、常緑の森、ビオトープの池、陸水の森、フラワーガーデンなどをゾーン構成し、多様な環境空間による都市生態系の向上を図りました。その上で周辺緑地の生物相の把握、樹林密度の検討、地下水位の対策などを踏まえて植栽計画を進めています。更に、風を感じるデザインとしてススキやオアシメントグラスを採用し、この土地のもつひとつの風土の表現を試みました。



煉瓦壁と豊かな生態系を育むビオトープ



煙突広場



プロポテ

景観・設備デザインの評価



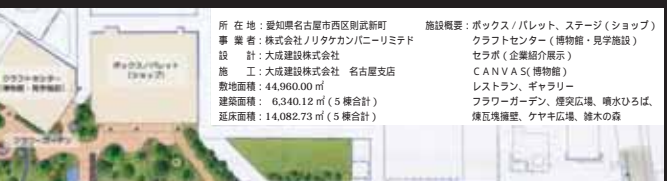
明治37(1904)年創業



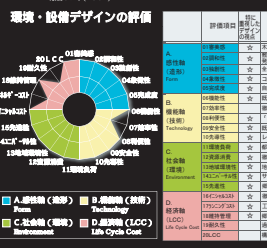
写真は昭和37(1963)年頃の鳥瞰写真



写真は新幹線開業当時



所 在 地：愛知県名古屋西区則武新町



評価項目	評価内容	評価結果
1. 景観デザイン	景観デザインに対する設計者のデザイン意図	○
2. 設備デザイン	設備デザインに対する設計者のデザイン意図	○
3. 総合評価	総合評価に対する設計者のデザイン意図	○